学校番号	２１４

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ｃ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	高等学校「数学Ｃ」（数研出版）						
副教材等	「サクシード数学Ⅲ＋Ｃ」（数研出版）「アクセスノート数学Ｃ」（実教出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

授業では、課題に対して自ら考える活動と周囲と協力して考える活動に取り組みます。
・「課題を理解する→結果を予想する→解決の構想を持つ→解決する→より良い方法を考える」を連続した過程として、それぞれの考えを発表することや議論することも取り入れます。
・問題集用のノートを授業用のノートと別に用意しなさい。
・指示された問題集の問題を自分で解いていきなさい。答えが出せるかどうかと同等にどう考えたか、どこまで考えられたかが重要です。途中式や求め方も書くようにしなさい。
また、答え合わせを必ずしなさい。どこで間違ったのかを知ることも大切です。
・問題集用のノートは定期的に提出してもらいます。
・学習の予定は順序を変更したり、進度を早めたりする場合があります。

２　学習の到達目標

数学的な見方・考え方を働かせ，数学的活動を通して，数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(a)　ベクトル，平面上の曲線と複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学的な表現の工夫について認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
(b)　大きさと向きをもった量に着目し，演算法則やその図形的な意味を考察する力，図形や図形の構造に着目し，それらの性質を統合的・発展的に考察する力，数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
(c)　数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・ベクトル，平面上の曲線と複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・数学的な表現の工夫について認識を深めている。 ・事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりすることができる。	・大きさと向きをもった量に着目し，演算法則やその図形的な意味を考察することができる。 ・図形や図形の構造に着目し，それらの性質を統合的・発展的に考察することができる。 ・数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現することができる。	・数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしたり，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期前半	平面上のベクトル	平面上のベクトルとその演算 ・平面上のベクトル ・ベクトルの和・差・実数倍 ・ベクトルの成分 ・ベクトルの内積	a：・平面上のベクトルの意味，相等，和，差，実数倍，位置ベクトル，ベクトルの成分表示について理解している。 b：・実数などの演算の法則と関連付けて，ベクトルの演算法則を考察することができる。 c：・事象をベクトルの考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。	定期考査	定期考査 ワークシート	授業観察 ワークシート
	ベクトルの応用	ベクトルと平面図形 ・位置ベクトル ・位置ベクトルと図形 ・ベクトル方程式	a：・ベクトルの内積及びその基本的な性質について理解している。 b：・ベクトルやその内積の基本的な性質などを用いて，平面図形や空間図形の性質を見いだしたり，多面的に考察したりすることができる。 c：・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート	授業観察 ワークシート

1学期後半	空間におけるベクトル	空間のベクトル ・空間の点の座標 ・空間のベクトル ・空間のベクトルの内積 ・位置ベクトル	a：・座標及びベクトルの考えが平面から空間に拡張できることを理解している。 b：・ベクトルやその内積の基本的な性質などを用いて，平面図形や空間図形の性質を見いだしたり，多面的に考察したりすることができる。 ・数量や図形及びそれらの関係に着目し，日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，ベクトルやその内積の考えを問題解決に活用することができる。 c：・事象をベクトルの考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	定期考査	定期考査 ワーク シート	授業観察 ワーク シート

2学期前半	平面上の曲線	2次曲線 ・放物線 ・楕円 ・双曲線 ・2次曲線の平行移動 ・2次曲線と直線の共有点 ・2次曲線と離心率 媒介変数表示と極座標 ・曲線の媒介変数表示 ・極座標と極方程式 ・いろいろな曲線	a：・放物線，楕円，双曲線が2次式で表されること及びそれらの2次曲線の基本的な性質について理解している。 ・曲線の媒介変数表示について理解している。 ・極座標の意味及び曲線が曲方程式で表されることについて理解している。 b：・放物線，楕円，双曲線を相互に関連付けて捉え，考察することができる。 ・日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，コンピュータなどの情報機器を用いて曲線を表すなどして，媒介変数表示や極座標の考えを問題解決に活用したり，解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴やほかの事象との関係を考察したりすることができる c：・事象を平面上の曲線の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善しようとしたりしている。	定期考査	定期考査 ワーク シート	授業観察 ワーク シート

2学期後半	複素数平面	複素数平面 ・複素数平面 ・複素数の極形式 ・ドモアブルの定理 平面図形と複素数 ・平面図形と複素数 ・方程式の表す図形	a：・複素平面上に図示したり、曲形式の計算をしたりすることができる。 ・複素平面上の図形と複素数との関連を理解している。 b：・複素数の四則演算と複素平面における表示を関連づけることができる。 ・様々な事象を複素平面上での表示と関連づけて考察することができる。 c:・事象を複素数平面の考えを用いて考察するよさを認識し,問題解決にそれらを活用しようとしたり,粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善しようとしたりしている。	定期考査	定期考査 ワーク シート	授業観察 ワーク シート
3学期	問題演習	復習とまとめ	a：数学Ｃの各単元について、基本的な問題を解くための知識や技能が身についている。 b：数学Ｃの各単元について、さまざまな問題に挑むための思考力・判断力・表現力が身につけている。 c: 復習しながら応用問題に取り組もうとする。 　共通テストレベルの問題に取り組もうとする。	定期考査	ワーク シート	授業観察 ワーク シート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度